

日本NGO支援無償資金協力事業
ベトナム国バクカン省バクナム郡における母子健康促進事業 Phase 1

1. **事業の実施期間：** 平成 17 年 10 月 27 日～平成 18 年 12 月 26 日

2. **事業地：**ベトナム国バクカン省バクナム郡

3. **事業の内容及び実施成果：**

この事業は、ベトナム国バクカン省バクナム郡において、母子を中心とする地域住民の健康が維持促進されることを目的に、住民主体の地域母子保健活動の促進と医療施設における母子保健医療サービス向上の二つを柱に実施した。当該事業地域は全国平均と比較して平均収入が約四分の一と低く、貧困率は 60%と他の山岳地帯よりも高い。2003 年に新行政区として分離独立した同郡では、新行政区として整備すべき課題が多く、保健分野もその一つである。地理的に保健医療情報へのアクセスが難しいだけでなく、ベトナム語を解さない少数山岳民族が同郡人口の約 4 割を占め、ベトナム語の保健医療情報が役立たないという状況であった。

そこで、住民主体の地域母子保健活動の促進については、村、コミュニティ、郡レベル毎の組織をつくり、地域住民が主体となって保健衛生活動を計画、実施するよう支援した。具体的には、保健衛生知識やコミュニケーションスキルの習得によるヘルスワーカー等の能力向上を通じ、地域保健衛生活動を活性化させた。また、村落や人の多く集まる市場での母子保健教育や栄養補給食提供プログラム、学校での保健衛生教育活動などを実施した。これらの活動により、遠隔地の住民、ベトナム語を解さない少数民族、貧困層といった社会的弱者を含む多くの地域住民に対して、公衆衛生や母子保健に関する知識を提供する機会を増やすことができた。

医療施設における医療サービス向上については、同郡からコミュニティヘルスステーションへの予算が約 625 ドル（平成 17 年当時）と非常に限られており、適切かつ十分な医療機材が恒常的に不足している状況であったことから、コミュニティヘルスステーション、郡病院にそれぞれ医療機材を供与、併せて使用前研修を実施し、基盤整備を行った。さらに、小児疾患包括管理トレーニングにより人材育成を図った。これらトレーニングにより、医療施設で母子保健医療サービスを提供する人材の知識と技術が向上しただけでなく、地域住民に知識や情報を伝えるコミュニケーションスキルも向上した。

以上の活動により、普及員の能力向上及び村・コミュニティ・郡レベルでの保健衛生普及活動が活性化され、住民の最も身近で効果的な活動を展開することができた。また、医療施設の医療機器を充実させ、スタッフの能力強化をすることで、母子保健医療サービスの向上につながった。今後は、普及した保健知識が母子や児童など地域住民に定着し行動に結びつくよう支援していきたい。

4. **日本NGO支援無償資金精算額：**米貨 90,068 ドル